ひまわりだより

NO.251

2019年4月

巾上ひまわり薬局　松本市巾上10－5　TEL 0263-35-4441
FAX 0263-37-5561
塩尻ひまわり薬局　塩尻市長畝230－3　TEL 0263-51-5311
FAX 0263-51-5322

定 休 日　日曜・祝日

新年度になりました。いろいろ制度が変わる時期ですね。今年度は、先月からお伝えしている。風疹ワクチンの制度も変わります。

風疹ワクチンとは

発病させる力を弱くした（弱毒化）ウイルスを培養して増やし、凍結乾燥させた生ワクチンと呼ばれる種類のワクチンです。感染とは違いほとんど症状はでませんが、弱くてもウイルスは生きているので、病気などで免疫力の弱い人や妊婦さんに接種することはできません。

風疹ワクチンと麻疹ワクチンと混合した麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）があります。現在の定期予防接種では麻疹風疹混合ワクチンが用いられています。

１回のワクチン接種によって９５％の人が免疫を獲得することができると言われています。２回の接種を受ければ、１回の接種では免疫がつかなかった人にも免疫をつけることができます。

　ワクチン接種が必要な人は
年代によって指針が変わり、非常に分かりにくくなっています。三種混合ワクチンとして接種している方もいます。
　１９９０年４月２日以降に生まれた男女は、２回の予防接種を受ける機会がありましたが、それより年齢が上の人は受けていても１回だけ。十分な免疫がついていない場合、感染の可能性があります。
１９７９年４月１日以前に生まれた男性にいたっては、接種の機会がありませんでした。
生年月日別にワクチン接種の状況を次ページで表にまとめました。

　左記の表の“接種が必要な方”に該当していなくても、罹患したかどうか不明であったり、接種回数が定かでなく免疫が十分であるかわからない場合は、抗体検査を受けることをおすすめします。抗体の有る無しに関わらずワクチン接種は可能です。
　妊娠を希望する女性と同居家族は、風疹の抗体検査が、国と自治体からの補助により無料でうけられます。
また、風疹の予防接種を公的に受ける機会がなかった３９～５６歳の男性の抗体検査とワクチン接種の費用を２０１９年度から３年間原則無料にすることが決まりました。
接種対象は、１９６２年４月２日～７９年４月１日生まれの男性約１６１０万人です。
　自治体の行う特定健診や企業が行う職場健診などの際に、一緒に抗体検査を行い、免疫が弱いと判明した人にワクチン接種を行ってもらうことになっています。

生年月日	ワクチンの接種状況	抗体検査の必要性
1962 年（S37）4 月 1 日以前	定期接種はありませんでしたが、大半の人が自然感染で免疫を持っている。	不要
1962 年 4 月 2 日（S37） から 1979 年 4 月 1 日（S54）	**男性は定期接種がありません。** 女性は中学生の時に1回集団接種	男性は要抗体検査
1979 年 4 月 2 日（S54） から 1987 年 10 月 1 日（S62）	**男女とも**中学生の時に1回、個別接種（注1）。**接種率は高くありません。**	男女ともに抗体検査推奨
1987 年 10 月 2 日（S62） から 1990 年 4 月 1 日（H2）	男女とも幼児期に1回個別接種・接種率は比較的高い	男女ともに抗体検査推奨
1990 年（H2）4 月 2 日以降	男女とも2回、個別接種	不要

注1）個別接種とは任意の医療機関（かかりつけのお医者さんなど）に行って予防接種を受ける方法のこと。集団接種と異なり、接種率は低くなる傾向があります。

今、流行している風疹の患者の２／３は、働き盛りの３０～５０代の男性です。少し体がだるい程度では仕事は休めないでしょう。
しかし、自分が感染源となって、先天性風疹症候群にかかってしまう子がいるかもしれないのです。
風疹に罹ってしまっている人も、誰かに「風疹をうつしてやろう。」と考えているわけではありません。
自分に風疹の免疫がないということを知らなかっただけと言う人がほとんどです。
無関心であるということが、一番怖いことです。

先天性風疹症候群はワクチンでなくせる病気です。

今年度から、抗体検査が受けやすくなり、抗体検査・免疫がない人へのワクチン接種のどちらも費用が無料となりました。

忙しさを言い訳にせず、自分には直接関係がないなどと思わず、将来のこどもたちを守るために、ぜひ風疹の抗体検査ををうけましょう。

✤✤ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ✤✤

http://www.himawari-ph.nagano.jp/

こちらも是非、ご覧ください ☺